

# 地域における取組例【陶磁器】 4産地連携による陶磁器産業の復興

A社ほか  
(岐阜県土岐市)

- 顧客ニーズを捉えた他社が真似できない新商品づくり、自社ブランドの確立に努めている。
- 産地全体を巻き込んで、陶磁器業界にとっての新たな取り組みを率先して展開している。

ポテンシャル  
(強み)

- 東海地域の陶磁器生産量は依然として全国シェアの半数以上を占める。
- 和食・日本酒ブームで、和食器と関連が深い日本文化が世界的に注目を集める。

取組内容

- インバウンド、海外市場など新たな市場の獲得に向けた、事業者間連携組織の組成。
- 陶磁器づくりの継続に向けた、産地間で協働しうる課題の検討。

<土岐・美濃・瑞浪>



<瀬戸>



<四日市>



<常滑>



取り巻く環境

- 少子化、ライフスタイルの変化 → 内需の減少
- 輸入品の増加 → 海外製品との競合激化
- 高齢化 → 分業工程の廃業増加

取り組むべき課題

市場の発掘、拡大

利益率の向上

陶磁器産業の維持

課題への対応

- 市場にマッチした独自性の高い商品の開発
- 売れる市場の開拓と販売ルート構築
- 商品の背景、産地ストーリーの活用によるブランド構築

現状

- 各産地には、独自に、新商品開発、海外展開、設備投資に独自に取り組むことで、成果を上げる事業者がいる。

狙い

隣接する4産地の連携協調を促し、自助努力では対応が難しい課題に対処する仕組みを構築することで、個社の独自性ある取組をさらに加速。

- 地域の次代を担う若手経営者層の増強
- インバウンド、海外など新しい市場の獲得
- 地場産業の復興

- 隣接する4産地は、それぞれが高度な量産技術を有し、各地で地場産業としての地位を確立。